

## 2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	医療秘書検定対策Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期 月3また金4/月4	教室名	4校舎701・702
担当教員	牧 雪枝	実務経験とその関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理学検査、病理学検査などを行っていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> めざましい医学の進歩と複雑な診療報酬制度の下、医療事務業務を能率的かつ円滑に進めるため、医学の知識が必要となってくる。 この授業では、疾患名とその特徴などについて理解し応用できるようにする。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 科目終了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> ・教科書:『新 医療秘書医学シリーズ 検査・薬理学』『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料						
<b>《授業外における学習方法》</b> 配布資料の暗記に努めておくこと。 検定試験の過去問題を何度も解き、また解説をよく読み理解に努めておくこと。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> この科目では暗記をもとにそれを応用していく必要がありますので、できるだけ多くの問題を解き慣れていきましょう。医療秘書技能検定試験の合格を目指し一緒に頑張りましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	①代謝系疾患に用いる薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『代謝系疾患に用いる薬の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	②代謝系疾患に用いる薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『代謝系疾患に用いる薬の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	①呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	②呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	③呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『呼吸器系疾患作用薬(耳鼻科系疾患も含む)の使用目的と対象疾患』を理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	①アレルギー性疾患治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『アレルギー性疾患治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	②アレルギー性疾患治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『アレルギー性疾患治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	①抗炎症薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『抗炎症薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	②抗炎症薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『抗炎症薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	①ホルモン・ビタミン製剤の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『ホルモン・ビタミン製剤の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	②ホルモン・ビタミン製剤の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『ホルモン・ビタミン製剤の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	①貧血および血液系疾患治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『貧血および血液系疾患治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	②貧血および血液系疾患治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『貧血および血液系疾患治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	①感染症治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『感染症治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	②感染症治療薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『感染症治療薬の使用目的と対象疾患』を理解する。		

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療秘書・情報学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	医療秘書検定対策Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期 月3また金4/月4	教室名	4校舎701・702
担 当 教 員	牧 雪枝	実務経験とその関連資格	病院にて臨床検査技師、臨床病理士として勤務。主業務は生理学検査、病理学検査などを行っていた。			
<b>《授業科目における学習内容》</b> めざましい医学の進歩と複雑な診療報酬制度の下、医療事務業務を能率的かつ円滑に進めるため、医学の知識が必要となってくる。 この授業では、疾患名とその特徴などについて理解し応用できるようにする。						
<b>《成績評価の方法と基準》</b> 科目終了試験:70% 出席評価点:20% 平常評価点:10%						
<b>《使用教材(教科書)及び参考図書》</b> ・教科書:『新 医療秘書医学シリーズ 検査・薬理学』『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料						
<b>《授業外における学習方法》</b> 配布資料の暗記に努めておくこと。 検定試験の過去問題を何度も解き、また解説をよく読み理解に努めておくこと。						
<b>《履修に当たっての留意点》</b> この科目では暗記をもとにそれを応用していく必要がありますので、できるだけ多くの問題を解き慣れていきましょう。医療秘書技能検定試験の合格を目指し一緒に頑張りましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	①抗悪性腫瘍薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『抗悪性腫瘍薬の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	②抗悪性腫瘍薬の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『抗悪性腫瘍薬の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	①輸血剤の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『輸血剤の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	②輸血剤の名称と作用を説明することができる。	・教科書『検査薬理学』『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。 前回授業内容の確認テストを実施するので、配布資料を中心に復習し暗記しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	準1級過去問題にて設題4の問題に関する薬剤について講義『輸血剤の使用目的と対象疾患』を理解する。			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	①内分泌名とその作用および分泌異常症について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。	
		各コマにおける授業予定	内分泌名とその作用および分泌異常症について講義『糖尿病やバセドウ病、ステロイドホルモン』について理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	②内分泌名とその作用および分泌異常症について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	内分泌名とその作用および分泌異常症について講義『糖尿病やバセドウ病、ステロイドホルモン』について理解する。		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	①ビタミン名とその作用および欠乏症について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	ビタミン名とその作用および欠乏症について講義『日本人の食生活で特に不足しがちなものとその対策』を理解する。		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	②ビタミン名とその作用および欠乏症について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	ビタミン名とその作用および欠乏症について講義『日本人の食生活で特に不足しがちなものとその対策』を理解する。		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	①予防接種法に定められている、疾患と接種時期および注意点について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	予防接種法に定められている、疾患と接種時期および注意点について講義『任意接種に関する問題点』について理解する。		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	②予防接種法に定められている、疾患と接種時期および注意点について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	予防接種法に定められている、疾患と接種時期および注意点について講義『任意接種に関する問題点』について理解する。		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	①感染症法の分類と各疾患の特徴および注意点について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	感染症法で分類と各疾患の特徴および注意点について講義『新興感染症、再興感染症』について理解する。		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	②感染症法の分類と各疾患の特徴および注意点について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	感染症法で分類と各疾患の特徴および注意点について講義『新興感染症、再興感染症』について理解する。		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	①難病の定義と各疾患の特徴および今後の課題について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	難病の定義と各疾患の特徴および今後の課題について講義『指定難病と医療費助成制度』について理解する。		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	②難病の定義と各疾患の特徴および今後の課題について説明できる。	・教科書:『デルカン』『目でみるからだのメカニズム 第2版』 ・配布資料	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。
		各コマにおける授業予定	難病の定義と各疾患の特徴および今後の課題について講義『指定難病と医療費助成制度』について理解する。		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	総合問題にて合格点の獲得	・教科書:『デルカン』 ・『医療秘書検定実問題集準1級』、配布資料	教科書および配布資料の総復習
		各コマにおける授業予定	授業のまとめと総合問題の実施		